# 学校自己点検・評価結果(2022年度)

### 1. 学校自己点検・自己評価

専修学校の学校評価は、平成19年の学校教育法および同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、および②学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されています。

### 2. 自己点検・自己評価についての取り組み

当校においては 2015 年度より、舟島なをみ氏の評価ツールと他校の評価項目を参考に学校独自の 50 項目の評価項目を作成し、自己評価を実施してきました。また、2019 年度からは学校関係者評価を実施してきました。

学校独自の評価項目で6年間自己評価をしてきましたが、評価項目の意味を確認すると、 重複しているものや、意味の理解に難解なものがある事実に行き着きました。

今回、舟島なをみ氏の評価ツールと文部科学省が規定する「専修学校における学校評価ガイドライン」を本校に当てはめ52項目のものを作成しました。

### 3. 教員の評価項目の解釈差異

教員個々の解釈により差が生じないように、項目の理解を図る教職員会議を設けた上で 自己評価を実施しました。

# 4. 自己評価結果(別紙)

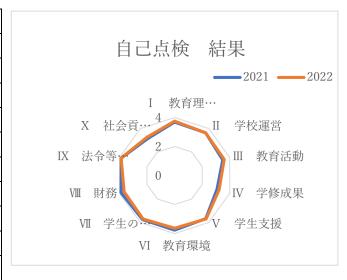
自己点検・自己評価項目は、 I 教育理念・目的 Ⅲ管理運営 Ⅲ教育活動 Ⅳ学修成果 V学生支援 Ⅵ教育環境 Ⅶ学生の募集と受け入れ Ⅷ財務 Ⅸ法令用の順守 Ⅹ社会貢献・地域貢献 の10の評価内容に分類し、52の小項目評価について実施しています。評価は4段階とし、4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切の評価となります。

2022年度の各内容における総平均点は以下の結果となりました。

#### 2022 年度評価結果

#### 3.5 以下赤字

評信	五 大項目	2021	2022
I	教育理念・目的	3.68	3.75
$\Pi$	学校運営	3.64	3.64
Ш	教育活動	3.49	3.60
IV	学修成果	3.08	3. 23
V	学生支援	3.67	3. 70
VI	教育環境	3.77	3.63
VII	学生の募集と受け入れ	3.75	3. 70
VIII	財務	3.88	3.65
IX	法令等の順守	3.86	3.88
X	社会貢献・地域貢献	3.15	3. 25



### 2022 年度 学校関係者評価報告 (旭中央病院附属看護専門学校)

旭中央病院附属看護専門学校は、「2022 年度学校自己点検・自己評価」の結果をもとに、学校関係 者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

- 1. 日 時 2023年3月28日(火) 14:00~15:10
- 2. 場 所 旭中央病院附属看護専門学校 会議室
- 3. 出席者
  - 1) 評価委員:5名
    - ①関連業界等関係者

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 総務人事課長 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 看護局長

②卒業生

旭中央病院附属看護専門学校 同窓会長

③教育に関し知見を有する者

旭中央病院附属看護専門学校 教育学講師

④在学生

旭中央病院附属看護専門学校 自治会代表

2) 学校関係者

旭中央病院附属看護専門学校 学校長

旭中央病院附属看護専門学校 事務長

旭中央病院附属看護専門学校 教務長

旭中央病院附属看護専門学校 実習調整者

旭中央病院附属看護専門学校 自治会担当教員

旭中央病院附属看護専門学校 事務副主査

### 4. 2022 年度 学校関係者評価結果

※評価は4段階(適切、ほぼ適切、やや不適切、不適)

# 1. 教育理念・目的

I	評価項目		全体評価結果	
教	1	教育理念・目的・育成人材像は、定められているか		
教育理念	2	学校における看護教育の特色は明確であるか	適切:3	
念	3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切:7	
目的	4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者・に周知さ		
的		れているか		
	・学	生に対して更に理念の浸透に努力してください。		
意	・学校の将来構想が描けると具体的な取り組み、行動化に繋がると思う。			
見	・人	口減少に伴い、求められる未来像を予測した人勢育成が課題となっていく。		
九	• 令	・令和5年度に病院の中期計画を策定する。次期中期計画も踏まえた学校の将来構想も考えて頂きたい。		
等	· 教	教育理念を一人一人の先生方が授業や学生の学びに具体化することが大切である。 常にそのイメージをもつ		
	こと	ことが重要。		

# 2. 学校運営

		評価項目	全体評価結果	
	5	目的等に沿った運営方針が策定されているか		
Π	6	理念等を達成するための事業計画が策定されているか		
学	7	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効 に機能しているか	適切:10	
学校運営	8	人事、給与に関する規定等は整備されているか		
営	9	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		
	10	教育活動等に関する情報公開が適正にされているか		
	11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか		
意見等	・情報システムの充実が課題。双方向のコミュニケーションのあり方検討が求められる。 ・業務の効率化のためのマニュアルの見直し、スリム化を図る必要がある。 ・マニュアル整備がされると業務の分配も可能になると考える。 ・評価項目 11 は改善点や課題も見えてきている。 ・学生情報等管理システムのサポートが終了となるため、新しいシステムの導入が必要。 ・教育活動に関する情報公開は学生募集にもつながると思われるので積極的な情報公開をお願いしたい。 ・うまく活用されていない業務マニュアルについては、活用されるような見直しが必要と思われる。 ・始業前でも業務であるならば、なんらかの措置をとるべきである。 ・業務の効率化は今後も改善を継続すべき課題であろう。			

# 3. 教育活動

		評価項目	全体評価結果
	12	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	
	13	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
	14	カリキュラムは体系的に編成されているか	
	15	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったキャリキュラムや教育 方法の工夫・開発などが実施されているか	適切:1
教育活	16	授業評価の実施・評価体制はあるか	ほぼ適切:9
動	17	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	
	18	目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	
	19	資格・要件を備えた教員を確保しているか	
	20	関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の 指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	
意見等	組みを明確にした方かよい。 ・教員の指導力向上に向けた取り組みが、学生の学習環境改善につながるため自己研鑽に努めてほしい。 ・学生の視点に立た相互理解が図れるよとい		

# 4. 学修成果

N		評価項目	全体評価結果	
V 学修	21	就職率の向上が図られているか	適切:1	
	22	資格取得率の向上が図られているか	ほぼ適切:8	
成	23	退学率の低減が図られているか	やや不適切:1	
果	24	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		
意見等	・退学者の減少については引き続き取り組むことをお願いしたい。 ・教員の努力不足だけではないが留年率、退学率の低減は重要課題。 ・学習支援の強化を図っていく。 ・就職率は 100%ということであれば就職率向上という目標での評価が難しいので評価項目の見直しが必要ではないか。			

# 5. 学生支援

		評価項目	全体評価結果	
	25	進路・就職に関する支援体制は整備されているか		
	26	学生相談に関する体制は整備されているか		
V	27	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		
,	28	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	適切:3	
学生	29	学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	ほぼ適切:7	
学生支援	30	保護者と適切に連携しているか		
<b>接</b>	31	卒業生への支援体制はあるか		
	32	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか		
	33	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか		
意見等	・教員のガイダンス参加もあり高校のニーズに応えることができていたと思われる。			

# 6. 教育環境

	V., V. 1.2 -				
IA	<b>Ⅵ</b>   評価項目				
教	34	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切:3		
育環境	35	学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適切:7		
境	36	防災に対する体制は整備されているか			
意見等	・評価項目35で交通費の意見が出たが、外部実習の交通費は妥当、適切な方法で対応していけるとよい。				

# 7. 学生の募集と受け入れ

VII		評価項目	全体評価結果	
受学	37	学生募集活動は、適正に行われているか		
対生	38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	適切:4	
け大芸	39	入学選考基準も明確化し、適正に運用しているか	ほぼ適:6	
ع	40	学納金は妥当なものとなっているか		
意見等	- ど取り組みはされている。 見・少子化に伴い更なる発信も求められる。			

# 8. 財務

		評価項目	全体評価結果	
VIII	41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		
財務	42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	適切:6	
	43	財務について適正に執行管理が行われているか	ほほ適切:4	
	44	財務情報公開の体制整備はできているか		
意見等	・予算・決算について、病院経理課とヒヤリングを行い決定している。			

# 9. 法令等の順守

	o. In the state of					
		評価項目	全体評価結果			
X	45	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか				
法	46	個人情報に関し、その保護のための対策がとられてるか				
法令等	47	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	適切:8			
() ()	48	自己評価結果を公表しているか	ほぼ適切: $2$			
の順守	49	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか				
	50	学校関係者評価結果を公表しているか				
意見等	・学生に対して個人情報保護の重要性教育をお願いします。 ・在校生も交えて学校評価を行っている。 ・今後 i p a d 使用による個人情報の取り扱いについて問題がないか検討していく必要がある。					

# 10. 社会貢献・地域貢献

×		全体評価結果		
地社	51	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切:1	
地域貢献・	52	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ほぼ適切:9		
意見等	・コし・コ	型コロナの影響や学業もあるためやむを得ない面もあると思われます。 ロナ感染に伴う社会の動きが未だ不安定なので評価が困難。安定した社会に戻った時の ていくことが必要。 後は更なる地域との交流が求められる。 ロナ後の学校の地域貢献について検討を進めてほしい。 ロナが落ち着いてくれば社会貢献の動きも戻ってくるはずである。	貢献のあり方を議	

I. 教育理念·目的

	TO THE THE THE TANK T						
	点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考				
1	教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	4.0	教育理念・目的・育成人材像は定めている。				
2	学校における看護教育の特色は明確であるか	4.0	「感じ、考え、自己を見つめ直せる看護実践者育成する」を 主軸に、リフレクションと社会人基礎力に重点を置いている。				
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いて いるか	3.5	社会のニーズを踏まえた新カリキュラムが今年度(2022)から始まった。千葉県東総地域における地域中核病院の附属看護専門学校としてのあるべき姿は示せているが、2040年の社会変化や地域医療・看護のニーズに向けた将来構想まではできていない。				
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・ 保護者等に周知されているか	3.5	理念・目的を学生には折に触れ説明している。保護者への 説明は、入学時および保護者会、学年だよりで説明してい る。また、ホームページ(以下HP)に記載している。				

①課題

②今後の改善対策

③特記事項

Ⅱ. 学校運営

	- 十仅是古	4適切	
	点検·評価項目	3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9	教育理念・目的・目標から運営方針が策定されている。
6	理念等を達成するための事業計画が策定されている か	3.9	年度末評価から新年度重点課題の抽出がなされて、会議 を通して教員間で共有し取り組んでいる。
7	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確 にされているか、有効に機能しているか	3.6	明確にされており、教職員会議は原則全員が出席できるようにし、意見交換できる場が設けられている。しかし、会議で意見が出にくく結論までに至らないことが多い。
8	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.6	就業規則など整備されている。臨地実習の開始時間が8時半のため、就業開始時刻前の8時頃から学生指導をしている教員が多い。新型コロナウイルスにより実習開始前の健康管理チェック業務が加わったことも就業時間前勤務の原因である。学生指導としての超過勤務は大幅に減少し、学生も18時には下校できている。
9	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整 備されているか	3.8	病院経営や学校運営について意見交換し、よりよい運営を 目指している。
10	教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	3.8	HPを随時更新し、教育活動の実際を紹介しているが更新頻度は低い。高等教育の修学支援制度に伴う機関要件も認可された。申請内容をHPに掲載し教育活動の情報公開を行っている。母体病院広報誌(ひろば)にて毎月、学校の教育活動の紹介をしている。
11	情報システム化等による業務の効率化が図られてい るか	2.9	業務マニュアルはあるがうまく活用がなされていない。また 更新されていないものも多く、業務の効率化は図れていな い。

- ・業務の効率化を図る
- ・会議の効率化を図る

### ②今後の改善対策

- ・働き方改革の推進(業務のスリム化・専門性をふまえた事務職との業務分担)
- ・会議のファシリテーター育成と参加者意識の変化

#### ③特記事項

・2023年度は教務長および主任教員が学年担当に入りクラス運営のロールモデルとして機能することが決定している。

# Ⅲ. 教育活動

	皿. 敘月冶劃				
	点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考		
12	教育理念に沿った教育課程の編成·実施方針等が 策定されているか	4.0	教育理念に基づいた教育課程の編成・実施方針等の策定 がなされており、学生にも提示している。		
13	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の 確保は明確にされているか	3.5	学生生活のしおり(学生便覧)、シラバス、HPに明示されている。新カリキュラムで1年次の学科進度を見直したが、実際には技術科目の分割講義が多くなり学習時間の改善には至っていない。		
14	カリキュラムは体系的に編成されているか	3.8	カリキュラムは体系的に編成されている。しかし、臨床看護師の講師選定の決定が4月末であるため、2年次は4、5月の講義バランスが悪い。		
15	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったキャリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.2	病院附属の学校であるため、母体病院の理念と急性期病院という特徴がカリキュラムに反映されている。教育方法の工夫や開発については、研究授業や教員会議等で検討しながら実施しているが、研究授業は年度末に集中しての実施となってしまった。2023年度入学生から電子教科書導入となる。		
16	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9	授業評価を実施している。講師への評価結果のフィードバックは昨年度よりも早くなった。		
17	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確 になっているか	3.9	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準等は学則等で 明記しており、学生生活のしおり(学生便覧)に掲示し学生に 周知している。		
18	目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	3.5	教育の分断を避けるために、3か年を通した学力向上プロジェクトを構築し担当者を置いている。国家試験の対策とガイダンスを専門外部講師にて実施し、3年次後期からは国家試験対策に特化した講師を招致して国家試験特別講義を実施している。また、12月から院内講師(医師)による特別講義も実施している。1年次から業者模試を定期的に実施している。		
19	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.2	看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインで定められた教員数は10名である。12名の教員は確保できているが、要件を満たした教員は8名であり専任教員の確保は課題である。人事交流制度を利用した4名の看護師が教育に当たっている。人事交流看護師からの専任教員移行者はなし。		
20	関係分野における先端的な知識・技能等を習得する ための研修や教員の指導力育成などの資質向上の ための取り組みがおこなわれているか	3.4	日本看護学校協議会および千葉県看護学校協議会に加盟し研修環境を整えている。また、院内研修の参加も可能となっている。研究授業が実施できているため、教員間で学べる機会が増えた。Web開催の外部研修は参加者も多いが、対面での研修参加者は少ない。慢性的な人員不足により業務が多忙でスキルアップしようという気力が持ちにくい。		

- ・学習進度の適正に繋がる講師依頼
- ・教員の指導力の向上(授業研究の運用方法、電子教科書を活用した教授方法の検討)
- ・教員ラダーは完成したが活用はまだできていない

#### ②今後の改善対策

・教員ラダーを活用した教員の能力向上のシステム構築

#### ③特記事項

- ·教員採用可能人数13名
- ・指定規則上10名の専任教員が必要
- ·2023年 教員数11名(専任教員7名 専任教員資格取得中1名、教員(看護師)3名)

## Ⅳ. 学修成果

	点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
21	就職率の向上が図られているか	3.4	就職率は常に100%で母体病院への就職率も100%であった。助産師学校進学者も資格取得後は母体病院に就職している。2022年度卒業生の就職率は100%であるが、母体病院への就職率は96%(2名他院へ就職)であった。
22	資格取得率の向上が図られているか	3.7	国家試験の合格率は2017、2018、2019年度は連続して100%であった。2020年度が96.6%であったため、個別支援の強化を行い2021年度100%となっている。国家試験不合格者には、翌年の受験で合格できるように模擬試験の案内および国家試験願書手続きの支援をしている。
23	退学率の低減が図られているか	3.2	退学者は2020年度11名、2021年度10名、2022年度4名である。学業不振の学生に対しては担任面談を行ったり個別に継続的支援を行い、学業不振による退学者の低減は図っている。しかし、学習過程で看護師という職業には就きたくないと自覚した学生の退学者は防ぎようがない。
24	卒業生·在校生の社会的な活躍及び評価を把握して いるか	2.6	ホームカミングデイを年1回で開催している。多くの卒業生が母体病院に就職しているため、教員は学生の実習指導で卒業生の活躍を把握することはできる。しかし、3年勤務すると約半数の卒業生は母体病院を離れるため、卒業生の動向について把握する体制をもちあわせていない。同窓会との連携強化を図っていく。

# ①課題

- ・退学率の低減
- ·卒業生の動向を把握するための体制ができていない

#### ②今後の改善対策

- ・退学理由の分析
- ・面接試験での当校が求める人材の獲得
- ・同窓会との連携を強化

### ③特記事項

- ・2022年度から看護局の人員配置に学校の意見を反映させていただける機会がつくられた
- ・2024年秋に学校創立60周年記念式典

### Ⅴ. 学生支援

点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切	備考
杰沃 正順次日	2やや不適切 1不適切	µπ <sup>-</sup> >

25	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	母体病院への就職は、3年次実習と並行して就職活動をする必要がないため学生の負担は軽減されている。採用試験の準備の支援もしている。助産師資格取得への経済的支援体制(奨学金10万/月)も母体病院で整備されている。
26	学生相談に関する体制は整備されているか	3.5	基本的には相談窓口は学年担当教員となっている。誰にでもいいので相談できることが大事であるため、「話しにくいことをそっとできる相談窓口」として全教員の連絡先(アドレス)を学生に周知している。また、病院勤務のカウンセラーに学校カウンセラーを委譲し連絡が取れるシステムはできている。カウンセリング利用者は2021年度4名(20回)利用、2022年度は2名(5回)の利用であった。ここ数年、看護学校における教員ハラスメントが話題となっている。ハラスメントの防止に関するガイドラインの策定をしていく必要がある。
27	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0	奨学金4万円の支給により、授業料(15,000円/月)および学生住宅費(11,700円/月)の支払いが可能となるような経済的支援が準備できている。また希望者には貸付金の利用制度も準備できている。授業料減免に関する新制度が認可されたため、22名について申請している。また、千葉県保健師等修学資金を27名が受けている。専門実践教育訓練給付金制度の利用者は4名である。千葉県保健師等修学資金に関しては成績良好者とあるため、成績クラス順位3分の2以上を成績良好と判断し対応している。
28	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8	健康管理規定に基づき、母体病院の協力を得て管理を 行っている。定期の健康診断の実施とワクチン接種の実施 など学生の健康保持のための体制ができている。また、旭中 央病院感染対策室が新型コロナウイルス抗原検査の実施を はじめとした健康相談に対応してくれている。
29	学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	3.9	89名の入居が可能な学生住宅を完備している。入居率 93%である。今年度は電子教科書の導入に合わせWi-Fi環境の整備もされた。また、学生の要望もあり合同学習室を各建物に1箇所用意した。
30	保護者と適切に連携しているか	3.7	再試数が多い、再実習、単位未修得に該当する学生の保護者には、妥当な時期に連絡を入れて状況の共有と支援を図った。育成人材像に向けた教育的介入を保護者に理解いただくには時間と労力を要する。担任による対応では難しい事案は、教務長を窓口にした対応をとった。
31	卒業生への支援体制はあるか	3.3	母体病院看護局に勤務調整の協力を依頼しながら、卒業後の就業支援を目的としてホームカミングデイを6月に実施した。卒業生の自己課題達成やキャリアアップのために図書室を活用してもらっている。実習施設で卒業生に会う際には声をかけ、相談を受けることができている。職場適応への支援として、3年生担当教員が各学生ごとに「卒業時社会人基礎力」を記載し、母体病院看護局に提出した。昨年度から職場適応HRの実施も行っている。2022年度の新人離職率1.9%(51名就職し1名退職)、病欠者4%(2名)となっている。
32	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されてい るか	3.5	社会人枠での推薦入試を実施している。入学時に、大学で 修めた履修科目に対して単位認定制度がある。2022年度 は申請者が1名あり。
33	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.6	高校教員対象学校説明会を開催し、当校の教育及び入試関係の説明を実施した。学校事務職員による学生募集ガイダンスへの参加を積極的に行った。また、今年度は教員による高校への出前授業および看護職の紹介を実施した。

- ・ハラスメント防止に関するガイドラインができていない ・学生の支援に繋がる保護者との連携スキルの向上
- ②今後の改善対策
  - ・ハラスメント防止に関するガイドラインの作成と学生への周知 ・教員の保護者との連携スキルを実践的に学べる機会を作る
- ③特記事項
- ・2020年度新卒採用者離職率 8.2%(日本看護協会資料より)

### Ⅵ. 教育環境

	111 1X F1 450				
	点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考		
34	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう 整備されているか	3.6	現在の校舎が竣工してから約30年が経過し、破損や故障がみられるが、修理の申請を行い、適宜修理を行っている。ICT化、電子教科書導入に向けネット環境の整備が図られた。教材として必要なものは適宜請求している。スキルセンターにある教材機器も有効に活用させてもらっている。実習室はベット間隔が狭いため演習物品の移動等に支障がでている。		
35	学外の実習施設、研修等について十分な教育体制 を整備しているか	3.6	学外実習施設に関しては、当校の実習要項と年間計画等を 説明し、実習内容の打ち合わせを行い連携を図りながら教 育体制を整備している。母体病院においては臨床実習指導 者委員会と連携しながら体制を整えている。母体病院以外 の外部実習は市内で通学しやすい場所も検討しながら、学 習環境を整えている。		
36	防災に対する体制は整備されているか	3.7	4月に1年生対象災害訓練、8月には3学年合同の災害訓練、2月には学生住宅災害訓練を実施した。防災マニュアルがあり、アクションカードも準備できている。学生住宅災害訓練は新入生が入学して間もない時期に行った方がよい。		

### ①課題

# ②今後の改善対策

#### ③特記事項

・臨床実習指導者委員会 次年度(2023)諮問事項として「看護の質向上のためには実習指導から」・・・指導体制の整備

# Ⅶ. 学生の募集と受け入れ

占焓: 証価項目		4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
37	学生募集活動は、適正に行われているか	3.5	新型コロナウイルス感染予防を踏まえ、今年度も対面でのオープンキャンパスは実施せずWeb開催を7月、8月、9月の3回実施し168名の参加があった。3月末に高校側からの要望もあり4回目のOCを開催する。志願者確保対策としてこれまで実施してきた指定校制の推薦入試に加えて、今年度は新たに公募制の推薦入試を導入した。公募推薦の案内は事前に近隣校にはお伝えした。受験者からの不満の声はないため、入学願書受付期間等は問題ないといえる。
38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6	オープンキャンパスで説明している。指定校推薦受験者は 33名(昨年度より-5)、公募推薦受験者12名であった。 よって、公募推薦を導入したことで、推薦入試としとしての受 験者数の減少は防げた。

39	入学選考基準を明確化し、適正に運用しているか	3.8	入学選考基準はHPおよび募集要項にて公表し、公表したものに則った運営をしている。2023年度入学者選抜試験の面接試験評価表を改訂し点数化できるようにした。
40	学納金は妥当なものとなっているか		千葉県内の専門学校と比較し学費は安価になっている。次年度入学生より、電子教科書使用となるため、教科書専用i Pad代2,000~3,000円/月を徴収していく。

### ②今後の改善対策

- ③特記事項 ・2024年度入学選考試験の実施時期を推薦・社会人入試10月、一般一次を従来の1月から12月実施に早め、 二次入試を2月実施であったものを1月実施に変更することが決定している。

# Ⅷ. 財務

	点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.6	新型コロナウイルス感染の影響から母体病院の経営状況は 安定とは言い難い。学校の収入は入学生数に比例する。 2022年度入学生は55名と定員割れしている。2023年度入 学予定者数は57名予定。
42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.7	中期計画を策定し運営している。講義資料のコピーはコスト 意識をもって使用していくようにする。学生住宅は光熱費込 の11,000円であるため、学生の節電意識がとても低いことが 課題である。
43	財務について適正に執行管理が行われているか	3.8	母体病院の経理課および学校事務にて適正に管理されている。
44	財務情報公開の体制整備はできているか	3.5	病院のHPに公開されている。

### ①課題

- ②今後の改善対策
- ③特記事項

# IX. 法令等の遵守

	点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
45	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校 運営がなされているか	3.8	専修学校設置基準等を遵守し運営されている。
46	個人情報に関し、その保護のための対策がとられてる か	3.6	母体病院の医療情報室の指導のもと学籍管理、PC管理を 行っている。
47	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.9	年度末に自己評価を実施し、達成度を教職員会議で共有 している。評価結果から問題点を抽出し、改善に取り組んで いる。
48	自己評価結果を公表しているか	4.0	HPに掲載している。
49	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行って いるか	4.0	学校関係者委員会を開催し、評価している。今年度から在 校生(自治会役員)も委員に加えて開催する予定。

	学校関係者評価結果を公表しているか	4.0	HPに掲載している。
--	-------------------	-----	------------

- ①課題
- ②今後の改善対策
- ③特記事項

# X. 社会貢献·地域貢献

	点検·評価項目	4適切 3ほぼ適切 2やや不適切 1不適切	備考
51	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.1	学校祭が新型コロナウイルス感染により開催できていないため地域住民に学校を知ってもらう機会がなくなっている。近隣小学校および近隣住民の避難場所として施設を提供している。社会貢献に関しては、地域の美化活動などを計画しているが、コロナ禍を理由に活動できていない。母体病院の小児科病棟等に季節の壁面飾りを作成し提供する活動は行えた。
52	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.4	小児科病棟などから依頼のあったボランティア活動については、学生に繋ぐ仲介役を果たした。近隣施設より依頼のあったボランティア活動については学生に掲示し候補者を募った。

### ①課題

- ・学生ボランティア活動の推進 ・学校祭における地域貢献策の検討

### ②今後の改善対策

- ・ボランティア活動の案内と活動案を実施できるための外部との調整役として支援する。 ・学生が学校祭を地域住民への健康支援の場として運営できるように支援する。

### ③特記事項